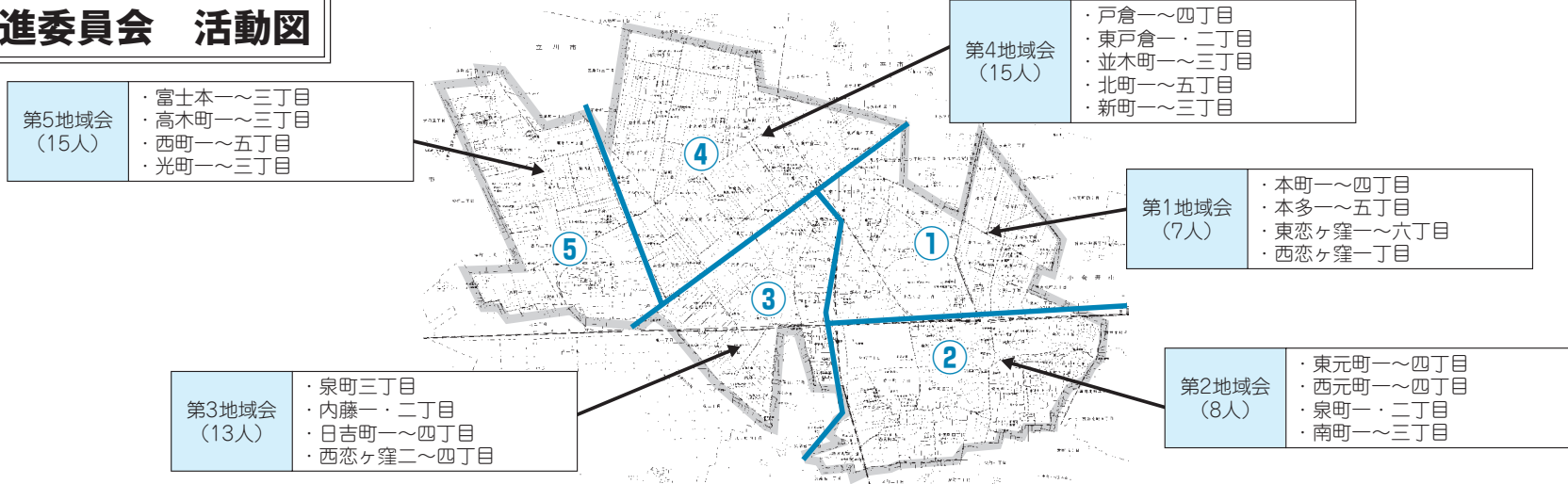


# 国分寺市廃棄物減量等推進委員会の仕事

廃棄物減量等推進委員は、市と廃棄物減量等推進委員会で共催している「3R講座」(年6~7回実施)の受講者のうち、ボランティアとしてご協力いただける方を市長が委嘱した方々です。市と協働して地域のごみ問題に関する意見交換を行ったり、各イベント等でごみの減量・資源化の啓発活動を行っています。現在約60人の皆さん

のご協力をいただいています。平成22年度の3R講座の募集は4月に行います。皆さんも3R講座に参加して、廃棄物減量等推進委員と一緒にごみの減量化・資源化にご協力ください。

## 推進委員会 活動図



## 推進委員会 活動内容

### 定例会



市内を5つに分け各地域で毎月1回定例会を行い、年1回の総会と年2回、全体で集まり、ごみの減量などに関する意見交換等を行っています。

### 分別体験説明会



1年を通じて各イベントや市民説明会(分別体験説明会)に参加協力し、ごみの減量と資源化の啓発活動を行っています。

### イベント参加



### 有価物回収事業(集団回収)を始めてみませんか

市では、資源物(紙類・布類・ビン類・カン類)の自主回収を奨励しています。今回は、その中でも積極的に活動している団体の一つである「北の原厚生会」を紹介します。北の原厚生会のリサイクル活動は、平成6年12月から始まり、会員の協力で毎月3回(火曜日)実施しています。代表の小塚さんによると「市から交付される奨励金は、団体のサークル助成金(老人会活動、防犯パトロール、赤い

羽根・年末助け合い募金など)として活動運営費に利用しているそうです。また、「各行事を通じ会員とのコミュニケーションを深めている」そう。有価物回収事業は、資源物をリサイクルする大切な一環として、ぜひ、この機会に集団回収を始めてみませんか。登録は随時受け付けていますので、ごみ対策課へお問い合わせください。



## 「生ごみの水切り」で もやせるごみの減量を

家庭から出るもやせるごみの中で生ごみの割合は約半分あります。生ごみの量を減らすためには、まず生ごみにならないようにすることが大切です。

そのためには①食材を買いすぎない②食べ残さない③食材は最後まで使い切る、この3つが必要です。さらに、「生ごみの水切り」を行うことも、ごみの減量に効果があります。「生ごみを目の細かいざるなどに入れ一晩置く」だけでも自然と水切りができます。

市民の皆さんには引き続き「ごみの分別減量」にご理解・ご協力をお願いします。



↓ごみ対策課 ☎042・300・5300

## 新小学6年生のための「算数教室」参加者募集

市教育委員会では、算数教室を5月から開催します。子どもにとって魅力のある楽しい問題を取り上げ、算数・数学の大切な考え方を身に付けさせることに重点を置いていきます。また、児童一人ひとりに応じ、問題を考える楽しさを気づかせ、数学的な見方や考え方を伸ばすことがねらいです。

1クラス36人で、年10回、土曜日の午前中に開催します。【対象】新小学6年生【募集要項】配付窓口「学校指導課(ひかりプラザ4階)・各公民館(恋ヶ窪・も

## 国勢調査の調査員募集

10月1日に全国で国勢調査が実施されます。本市では、約5万5千世帯、約12万人が調査の対象で、調査員としてご協力いただく方が60人以上必要となります。責任を持って調査のできる方を調査員として募集します。

【募集期間】2月15日(月)~3月15日(月)午前9時30分~正午、午後1時30分~4時 ※土・日曜日、祝日を除く【登録要件】①市内および近隣市に居住し、20歳以上で調査活動のできる健康な方②調査で知り得たことなどの秘密を守る方③警察・選挙・税務事務に従事していない方【任命期間】8月下旬~10月下旬(予定) ※調査員は非常勤の公務員です【仕事内容】調査員事務説明会への出席、担当調

## 私立幼稚園等保護者補助金

とまち公民館は現在(休館中)※市立小学校の新6年生には学校を通して配付します【募集人数】36人(多数の場合は抽選)【申込み】2月26日(金)までに、市立の各学校の新6年生は学校を通して、それ以外の方は直接学校指導課へ ↓学校指導課 ☎042・573・4372

平成21年度中に本市に転入し、お子さんが私立幼稚園等に通っている方で、本市に補助金の申請をしていない方は、3月12日(金)までに申請してください。 ↓学務課 ☎042・574・4042